

論 文 要 旨

学籍番号	81333056	氏 名	井口 正之
論文題目： 事故車両を対象としたオークション価格予測モデル の構築			
(内容の要旨) 日本において、車の保有台数がどんどん増えている。一方で、日本人の人口は減っているのが現状である。今後もこの流れが続くと余剰になる車が溢れることが想像できる。その際に、期待が高まるのが中古車市場である。日本において中古車市場は長く存在している。近年ではインターネットオークションでの取引を行い、国内だけでなく海外へ輸出を行う企業も登場している。また、中古車を取り扱うだけでなく環境により大きな貢献をする事故車両を扱う会社も存在するようになった。その一方で、中古車、また事故車両に対する価格付けの基準となるものは依然として存在しない。現在は、オークションにおける取引にて販売することが一般的である。また、既往研究では中古自動車インターネットオークションに対する価格予測は行われていたが、事故車両については行われていない。 本研究ではインターネットオークションにおいて事故車両を売買する企業が確実な利益をあげられるよう、事故車両の落札価格を予測し、基準となるものを示す。手法として、問題構造図、ケーススタディ、重回帰モデルを用いた。問題構造図による分析の結果、価格の予測が難しくしている原因として属人的な判断に頼りすぎていることが原因だと考えた。そこで、予測モデルを構築し、予測価格を示唆することが重要だと考えた。具体的に過去のデータから自動車の使用状況、事故箇所のデータを用いることで予測を行う。 ケーススタディでは、自動車の程度が悪いほど予測が難しいと仮説を立てて行った。しかし、実態は程度の事故車の中でも状態の良い車に対して予測が難しくなっているといことがわかった。 そして、損傷度が比較的程度の良い物に対する重回帰モデルでは、決定係数 0.82 という当てはまりの良いモデルを構築することが出来た。 このことから、価格付けが行われていなかった事故車両という市場に対して一定の示唆を与えられたと考えている。今後の課題としては、今回のデータは 2013 年 6 月・7 月を中心に扱ったため、他の時期では異なることがあるため、景気の変動などを考慮していくことが今後の課題である。			
キーワード (5 語) 価格予測モデル、オークション、自動車、故障、ビッグデータ			